

津中心部の見所案内

①:津城



1580年頃に織田信包が築城。その後、1608年に入府した藤堂高虎によって拡張、整備されました。高虎は築城の名人といわれ、生涯に20余の築城に携ったといわれています。2017年、続日本100名城に選出されました。

②:ガイド詰所



安濃津ガイド会が駐在して、周辺のガイドを行っています。開所は、土・日・祝日の9:30~16:00です。続日本100名城のスタンプもあります。

③:津観音寺

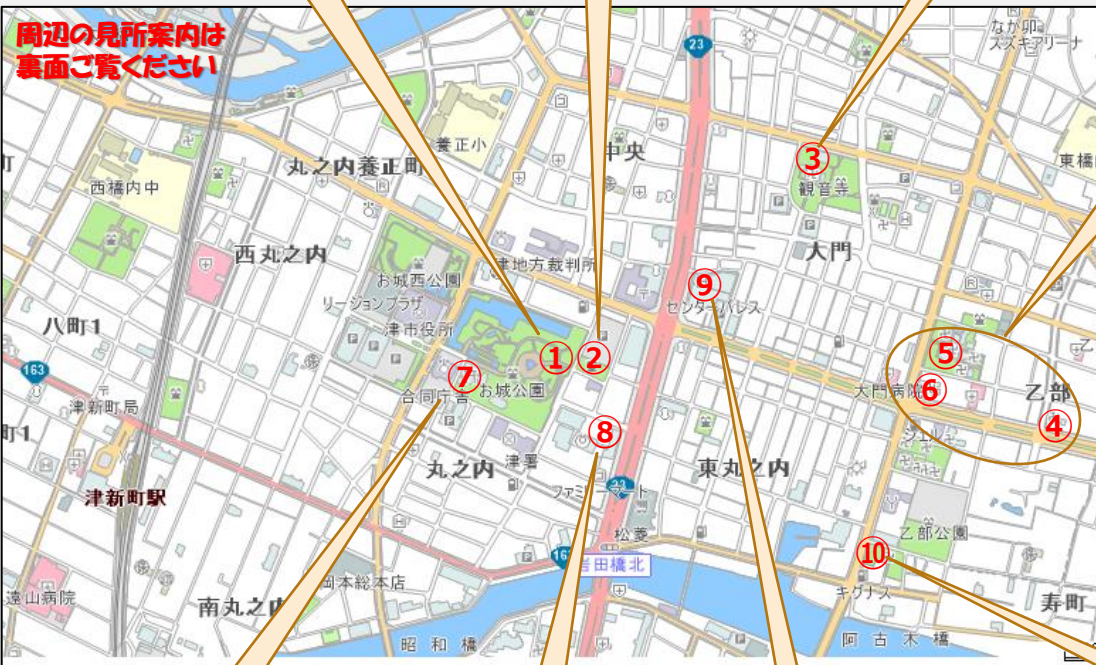


真言宗醍醐派。本尊は聖観音。浅草観音、大須観音と並んで日本三観音のひとつとされています。塔頭の大宝院の本尊は天照大御神の本地仏といわれる「国府の阿弥陀如来」です。伊勢の津七福神:毘沙門天霊場



津市は、古くは「安濃津」と呼ばれた港町として、江戸時代は藤堂32万石の城下町として栄えたこともあり、歴史的な建造物が多数残っています。「安濃津ガイド会」が見所をご案内致します。

【申込み・お問い合わせ】
津観光ガイド・ネット
(津市観光協会内)
TEL : 059-246-9020
FAX : 059-221-0811



④:浄明院 ⑤:西来寺 ⑥:上宮寺



浄明院:臨済宗興聖寺派。三代高久が生母のために建立。江戸川乱歩(平井太郎)の菩提寺です。西来寺:天台宗真盛派。真盛上人の建立です。上宮寺:浄土真宗高田派。聖徳太子が建立、津最古の寺といわれています。阿漕平治の法要を行っています。

⑦:高山神社



祭神は藤堂高虎。神社名は高虎の諡号「寒松院殿道賢前伊州羽林高山権大僧都」から命名されました。人形師安本亀八(光政)制作の絵馬が奉納されています。伊勢の津七福神巡り:寿老神霊場

⑧:有造館跡



十代高兌が1820年に二の丸に設立した藩校「有造館」の跡地です。写真は西の丸に移築された、藩校の正門である入徳門で、現存する津城唯一の建造物です。

⑨:センターパレス



地下1Fに津城本丸の模型、天守の代替をしていた丑寅櫓の1/10の構造模型があります。



⑩:寒松院



天台宗。もとは昌泉院。二代高次が高虎の霊を祀るようになって以降、藤堂藩主の菩提寺となりました。歴代藩主の壮大な五輪塔や板石塔婆が並んでいます。

津中心部周辺の見所案内

⑪: 偕楽公園



十一代高嶽の別荘である御山荘が起源の公園。現在は桜やツツジの名所です。園内には藤堂高虎が朝鮮から持ち帰ったと伝わる龍灯籠や津出身の名士の顕彰碑等があります。

⑫: 初馬寺(蓮光院)



真言宗御室派。伝承では614年、厄年で病となった聖徳太子が、自ら刻んだ馬頭観世音菩薩を祀ったのが始まりといわれる寺院です。伊勢の津七福神巡り・恵比須天霊場

⑬: 四天王寺



曹洞宗。聖徳太子の建立と伝えられています。戦火で荒廃していましたが、藤堂高虎によって再建されました。高虎正室、久芳夫人の墓、織田信長、信包の母、土田御前の墓がある他、津ゆかりの人物の墓が多数あります。伊勢の津七福神巡り・大黒天霊場

⑭: 忠盛塚



平清盛の父忠盛生誕の地といわれ、伊勢平氏発祥の伝説地となっています。産湯池といわれる小池が近くにあります。

⑮: 真教寺



天台宗。二代高次建立。本尊が閻魔大王のためエンマ堂が通称です。円空の十一面観音立像は県指定有形文化財で円空初期の力作といわれています。

⑯: 結城神社



祭神は結城宗広。小社であったが、十代高次が神社を建立。その後荒廃も明治に別格官幣社となり杜殿を建立。現在は梅の名所として有名です。狛犬は彫刻家北村西望作です。伊勢の津七福神巡り・福祿寿霊場

⑰: 津八幡宮



二代高次建立。その際、藤堂高虎も合祀し、津の総鎮守として、現在の津まつりのもととなった祭礼を毎年実施。県無形文化財の唐人踊りはこの祭礼から始まりました。

⑱: 阿漕塚



漁師の平治が、禁漁区である阿漕浦で、母の病に効く「やから」をとったため、養巻きにされて海に沈められたとの阿漕平治の伝説にまつわる慰霊塚です。

